

## 地域連携推進会議 議事録

開催日：令和7年11月27日（木）13:00～15:00

開催場所：グループホーム イエローリーフ 三木市志染町東自由が丘3丁目350番地 1階リビングルーム

出席者：構成員（地域連携推進員） 2名 ※イエローリーフ近隣にお住いの方

グループホーム管理者 西垣達得

グループホーム生活支援員 1名

グループホーム利用者 2名

13:00に構成員2名をイエローリーフ玄関前でGH職員がお迎えして、そのまま管理者がメロンリーフまで送迎し見学いただく。見学終了後再びイエローリーフへ送迎し空室や共用スペースを見学いただいた。  
見学終了後、リビングルームで利用者2名をお呼びし構成員の方と歓談し交流いただいた。

### 構成員からの質問等

○構成員から利用者へお仕事や日中の活動についてどんなことをしているか質問がある。

利用者A→ホーム在宅時に自分で作った料理やお菓子のスマホに撮っている写真を見せられた。

利用者B→朝起きられなかったり、自分でやることを世話人さんへやってもらったりしているのできちんとできるようになり就労できるようになりたい。美容に興味がありつけ爪を構成員へ見せて説明された。

○利用者Aから構成員へどんなお仕事をされているのか質問があり、それぞれ回答いただいた。

→利用者2名とも構成員の職業や趣味活動に関する説明を楽しそうに興味深く感心されながら聞かれていた。

○構成員から以前飼っていた動物の話や最近行った旅行の話などをしていただいた。

○一人の利用者が自立して一人暮らしするために退去準備を進めておられるが、退去されるにあたり、行政機関等でその方が立ち立ちできるか判定するような仕組みがないのかといった質問があった。

→GH管理者が知る限り現状の制度でそうした判定を行う機関や基準は無いという認識であることを回答した。

### 障がいや利用者の日中活動について

今回交流いただいた2名の利用者の障がいや特性について説明を行い、ご理解をいただいた。

実際交流いただいた場面で利用者の特性がよく現れており、普段の様子や声かけや促しなど行動支援が必要であることをご理解いただけたと感じる。特に声掛けに関しては起床や服薬の声掛けが必須であることをご説明した。

また、日常生活の動作に問題はないが、利用者個人に関わる対外的な手続き、対応については職員のサポートや代行が必要であり継続的支援が必要であることをご説明した。

日中活動については利用者によって就労の形が変わり、就労継続支援A型・B型、生活介護、一般就労があることをご説明した。

現利用者においては、次の段階へステップアップするための準備期間中であること、日中活動以前にまずは生活のリズムを整えて精神状態が安定できるよう生活支援を行っていることをご説明した。

### 構成員からの助言等

今回は初めての推進会議であり、施設見学とグループホームとはどういった場所であるか、利用者はどのような方であるか、といったことをテーマに地域社会のご理解を深めていただく機会としましたので、構成員の方から具体的な助言等はありません。

次回以降はグループホーム運営や支援に関する議題・テーマを選択し、構成員の方から助言や要望を頂けるような推進会議にいたします。